陳 情 書

【陳情の趣旨】

ほこ道整備に関しては、すでに狛江市は狛江駅北口の歩道をほこ道指定しています。ということは、広さは十分であるからほこ道指定したといえます。(参照※ほこ道指定要件)しかし、狛江市は、噴水周辺と泉の森会館通りの樹木を伐採し(一部強剪定)、土面を舗装しようとしています。

キッチンカーや椅子などを置いて停留する場所は、噴水を撤去するだけでもかなり広いスペースが取れますので、噴水撤去した跡をどう利用するかに腐心すべきです。

よって以下陳情します。

- 1. 噴水周辺と泉の森会館通りに関しては、今までの使われ方を尊重し、 散歩する保育園のお子さんたちの情操をはぐくむ景観と自然を保全する 整備をお願いします。また噴水周辺の樹木群を保全し、駅前に緑を求め て来る市民の期待を裏切らずに賑わいの創出をお願いします。
- 2. 土面は残された貴重な自然であると同時に、樹木の育成に欠くべからざるものです。雨が浸透し地下水が涵養され、周辺の都市型災害を未然に防ぐ働きもしています。ぜひ土面を保全してください。<u>これ以上、駅前に舗装面をふやさないでください。</u>(4月9日、駅前説明会の直前まで大雨で土面には水が溜まっていましたが、2-3時間後にはほとんどなくなっていました)
- 3. 気候変動・異常気象の一端と言えるのか、一年を通して強風や低気圧通過が多い昨今です。安心・安全のためには、現在の樹木群の在り方を踏襲し(かつての北口再開発の時は、荒木邸の一部であった緑をそのまま生かした駅前整備をした)、樹木の下に人があまり立ち入らない使われ方のママの方が、良いといえます。噴水裏に通路舗装するようなことはしないでください。
- 4. 現在の樹形が美しいケヤキやシラカシは、駅前のシンボルツリーでもあります。<u>駅前の景観を保ち、その中にキッチンカーやそれを楽しむ人々の</u> 賑わいを生み出すようにしてください。樹木の強剪定はしないでください。
- 5. 噴水の現在の水たまりの位置は枝落ちの心配があるので、しっかりした 屋根付きのパーゴラなどを設置すれば、これまで噴水舞台ではできなかっ た弦楽器演奏などもでき、新たな音楽の街こまえの展開も期待できますし、 子どもの遊び場、休憩スペース、見晴らし台などに利用できるといえ、行

政に提案してきました。<u>安全で尚且つ「音楽の街」「絵手紙の街」として</u>の特徴も発揮できるような駅前整備をしてください。そのための専門家の 意見も聞いてください。

- 6. 泉の森会館通りの植栽であるクチナシ・サルスベリは、オオスカシバやアシブトクチバの植草ですし、サツキはルリチューレンジバチの植草で、道路(歩道)の植栽でも昆虫の発生源として保全地区柵内や散策路に飛来し市民の楽しみの一つになっています。ありきたりの植栽でも生物多様性の一環として、見るべき昆虫の発生源となっているのです。それぞれの樹木を保全してください。
- 7. 一期工事の舗装材は溝が浅いのか平坦で面白みがなく、同素材の舗装が 泉の森会館通りを覆ってしまうことは、お金をかけて大変つまらない空間 になりそうで残念です。一期工事は可動式の植栽で緑陰を作る以外に方法 はないかもしれませんが、それとて、水やりなど植物にとっては決して良 い環境とは言えません。泉の森会館通りは、石のスツール椅子や岩周辺の みぞなどがユニバーサル性を下げているとはいえ、雨水涵養の役割をして いるといえます。この際ユニバーサル性と自転車のスピード走行を抑える 配慮は必要ですが、動線が湾曲しているコンセプトや、今までの景観も舗 装材も活かした滞留スペースを作り出す誰もが喜ぶ整備を行ってくださ い。

①歩行者利便増進道路の指定について

🐸 国土交通省

道路管理者は歩行者利便増進道路を指定する場合、以下に示す指定要件を満たす必要があります。(道路法第48条の20第1項関係)

【指定要件】

- 1 快適な生活環境の確保と地域活性化に資すると判断できること
- 2 都市機能の配置状況や沿道の利用状況等から、歩行者の利便増進に資する<u>適切な区間</u>であると判断できること
- 3 歩行者の安全かつ円滑な通行を確保するための十分な有効幅員を確保できること
- 4 沿道住民や周辺地方公共団体など関係機関との協議等により理解が得られていること



1 🥝 XB 📮 📴 🚥 🧑 👄 當 🗷 🚳 🥒 🔞 🔞 🗸

※ほこ道指定したとしたとうではないますではないますではないますがある。木を切った。木を切ったのではなった。木がではないではないがある。本がではないがある。本がではないができる。本がではないができる。本がではないができる。本がではないができる。本ができる。本ができる。本ができる。

る状況で、第1期工事区域をメインとすれば、第2期工事区域は、これまでの使われ方や景観・ 自然を住民に残した展開が可能で、それこそ緑の中に溶け込むキッチンカーとその周辺の賑わいが創出できるといえます。

参照2

2024.4.19午後2時~3時、昼間、強風が吹きだしたの噴水裏。



緑地保全の会での現地検 討会の時、結構大きな枝 が落下してきていた。

(注)写真にある噴水の 壁が撤去される。